

令和2年 病害虫防除指導情報 第8号

作物名：果樹共通（おうとう、もも、西洋なし）
病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）

県南地域（五戸町）に設置したフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘引数が平年より多くなっています。園地を確認し、カメムシ類の発生が見られた場合は、防除しましょう。

1 今後の発生予想

これから気温の上昇とともに果樹カメムシ類の活動が活発になり、特にスギ等の林が近くにある園地では飛来数が多くなると考えられます。また、飛来した越冬成虫は幼果を吸汁加害したり、葉裏などに産卵します。

2 防除対策

(1) 耕種的防除

- (ア) 葉裏などに産卵するので卵塊は見つけ次第、つぶして処分する。
- (イ) ふ化幼虫は分散する前に捕殺する。



写真1 幼果上の卵塊

(2) 薬剤防除

発生が見られた場合、表1の防除薬剤を参照の上、薬剤防除を実施する。

表1 果樹カメムシ類の防除薬剤

作物名	散布時期	系統名	農薬名	IRACコード	希釈倍数	備考
おうとう	収穫前(晩生種)	ピレスロイド剤	テルスターフロアブル	3A	4,000	アウトウシヨウジョウバエ対策でスカウトフロアブル(3A)3,000倍を使用した場合、この時期の防除は必要ない。
もも	落花40日後頃	ネオニコチノイド剤	ダントツ水溶剤	4A	2,000	
	7月上旬	ピレスロイド剤	イカズチWDG	3A	1,500	
	7月中旬	ネオニコチノイド剤	スタークル顆粒水溶剤	4A	2,000	左記の2剤から、いずれかを使用する。
		ネオニコチノイド剤	アルバリン顆粒水溶剤	4A	2,000	
	7月下旬	ネオニコチノイド剤	ダントツ水溶剤	4A	2,000	
	8月上旬	ネオニコチノイド剤	スタークル顆粒水溶剤	4A	2,000	左記の4剤から、いずれかを使用する。
		ネオニコチノイド剤	アルバリン顆粒水溶剤	4A	2,000	
ネオニコチノイド剤		ダントツ水溶剤	4A	2,000		
ピレスロイド剤		テルスターフロアブル	3A	3,000		
西洋なし	7月上旬まで	ピレスロイド剤	MR. ジョーカー水和剤	3A	2,000	MR. ジョーカー水和剤の年間使用回数は「2回以内」である。
	7月中旬	ピレスロイド剤	スカウトフロアブル	3A	1,500	左記の2剤から、いずれかを使用する。
		ピレスロイド剤	テルスター水和剤	3A	1,000	
	7月下旬	ピレスロイド剤	スカウトフロアブル	3A	1,500	
	8月上旬	ピレスロイド剤	スカウトフロアブル	3A	1,500	
	8月中旬	ピレスロイド剤	スカウトフロアブル	3A	1,500	左記の2剤から、いずれかを使用する。
		ピレスロイド剤	テルスター水和剤	3A	1,000	
	8月最下旬	ネオニコチノイド剤	スタークル顆粒水溶剤	4A	2,000	左記の2剤から、いずれかを使用する。
		ネオニコチノイド剤	アルバリン顆粒水溶剤	4A	2,000	
9月	ピレスロイド剤	スカウトフロアブル	3A	1,500		

注)「令和2年度農作物病害虫防除指針」から抜粋・編集

3 チャバネアオカメムシの誘引消長

県予察ほ場（五戸町）のフェロモントラップにおける調査では、5月第6半旬から6月第3半旬の誘引数は平年に比べ多かった。注意報を発令した2001年は5月下旬から6月上旬及び夏季の誘引数が多かったため、今後高温で経過すると2001年同様に今後の誘引数が多くなると予想される（図1）。

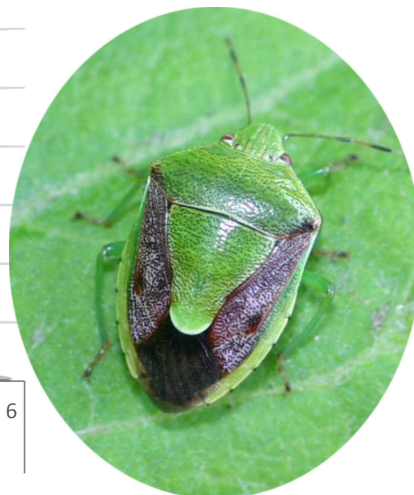
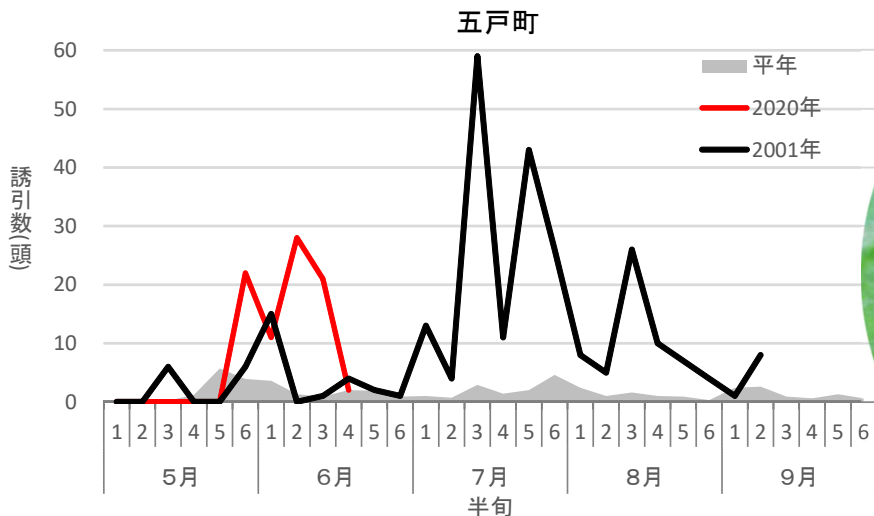


図1 チャバネアオカメムシの誘引消長

- 注) 1 平年：2013年～2019年の過去7か年の平均値。
- 2 2020年：県予察ほ場（りんご研究所県南果樹部）は2013年から県予察ほ場となり、チャバネアオカメムシ集合フェロモントラップを設置。
- 3 2001年：注意報8月2日発令、県南果樹研究センター（現りんご研究所県南果樹部）の試験研究で場内にチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップを設置。

4 本年の巡回調査園地の被害状況

6月上中旬の巡回調査では県南地域のおうとう調査園地の半数で被害果が確認された。また、もも葉上のクサギカメムシと吸汁加害された幼果が確認されている。

表2 巡回調査における果樹カメムシ類の被害状況（作物：おうとう、品種：佐藤錦）

調査時期	地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率 (%)					発生園地率 (%)	被害果率 (%)
				甚	多	中	少	無		
6月上 ～中旬	県南	本年	8	0	0	0	50.0	50.0	50.0	0.50
		前年	8	0	0	0	0	100	0	0
		前々年	8	0	0	0	0	100	0	0

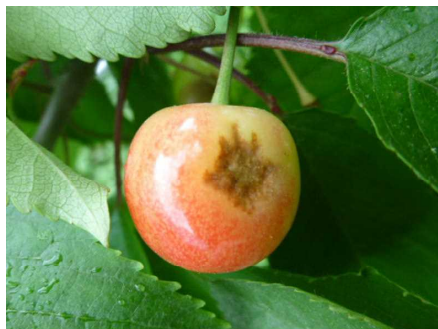


写真2 おうとうの被害果



写真3 ももの被害果及び葉上のクサギカメムシ

★農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください★

農林水産省「農薬情報」 http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/
 (独)農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報提供システム」
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
 E-mail:byogaichu@pref.aomori.jg.jp 担当：主査 芦田倫子